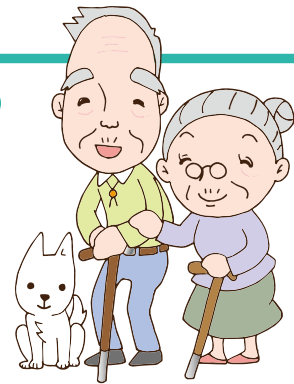


住まいるハウジング

健康状態・ライフスタイルに合った"理想の住まい"を！
シニア・障がい者等の「賢い賃貸物件探し」

「年齢やハンディキャップの有無に関わらず、誰もが安心して住まい探しや不動産売買ができる」そんな地域づくりには何が必要か？
今回から3回にわたり、全国的にも珍しい《介護や福祉・医療を必要とする人専門の不動産業》の代表に、住まいに関するさまざまな課題とその解決策をお聞きします。



まだまだ発展途上の 住まいのマッチング

「介護や福祉・医療を必要とする人が、地域で安心・安全に暮らせるまちづくりを」という地域包括ケアの理念の実現に際して、一番対策が後手にまわっている感があるのが「住まい」の問題です。厚生労働省主導の「サービスピ付き高齢者向け住宅（サ高住）」や、自治体やUR都市機構の高齢者向け賃貸住宅整備とともに、民間でも地域の既存物件（空き家）を有効活用して、こうした方々の住み替えニーズに積極的に応える必要があります。



ですが、特に賃貸物件の場合、従来は「万一死亡事故などがあつたら」との不安から、入居を断る大家さんがほとんどでした。こうした事態を少しでも改善したいと考えて、私たちが取り組んでいるのが、介護や福祉・医療サーピスを受けている方に特化した「住み替えのベスト・マッチング事業」です。

借りる側も貸す側も 安心な仕組みを構築

たとえば介護を受けている方なら、ケアマネジャーと連携しながら、スタッフは全員提携先のデイスリーブス生の松原・デイスリーブス石丸で定期的な研修を受けて、どんな事態にも対応できるようにしています。また、障がいをお持ちの方や闘病中の方なら、必要に応じて看護師の付き添いもつけて、ご本人の求める住まい探しに徹底的にお付き合いします。また、大家さんサイドに対しても、家賃保証から万一の際の原状回復や家財処分等まで、不安を払拭でき

る支援態勢を整えています。努力の成果で、最近は理解・協力いただける大家さんも増え、バリアフリー化やカメラ設置による見守りなどが実現したケースも増えてきています。今後は介護施設や病院をはじめ、提携先をさらに増やして、今以上に包括的に「誰もが笑顔で暮らせる活気あるまちづくり」に寄与していきたいと思っております。

「戸建てを処分して便利な都心に、いきつけの病院の近くに、また親族の目の届く地域に、など、高齢者やハンデのある方ほどなかなか実現できない現状があります。住まいの悩みなどなんなことでもお聞かせください！」



エステート・エイジェント
デイスリーブス生の松原・
デイスリーブス石丸 代表
顧問 岩谷 栄徳さん



エステート・エイジェント
代表 梅本 南平さん